中部日本
戰時版

發行所 中部日本新聞社
名古屋市中區西川端町一ノ五
別館 [illegible]區御幸本町通二ノ二四
一ヶ月七十錢（一部）三錢
發行人 編輯人 印刷人 [illegible]

台灣沖の捷報續々到る

空母九戰艦一始め 廿二隻を撃沈破

來襲敵艦隊を撃摧

十二日以來の戰果

大本營發表（昭和十九年十月十五日十五時）台灣東方海面の敵機動部隊は昨十四日來東方に向け敗走中にして我部隊は此の敵に對し反復猛攻を加へ戰果擴充中なり

現在迄に判明せる戰果（既發表のものを含む）左の如し

轟撃沈

航空母艦	七隻
驅逐艦	一隻

註 既發表の艦種不詳三隻は航空母艦三隻なりしこと判明せり

撃破

航空母艦	二隻
戰艦	一隻
巡洋艦	一隻
艦種不詳	十一隻

來襲の敵第五十八機動艦隊

【リスボン十四日發同盟】ワシントン來電によれば米國海軍當局は今回我が南西諸島及び台灣に來襲した米國艦隊は太平洋第五十八機動艦隊で航空部隊の司令官は中將マークミツチルなる旨發表した

海上部隊も呼應

敗走の敵を猛追撃中

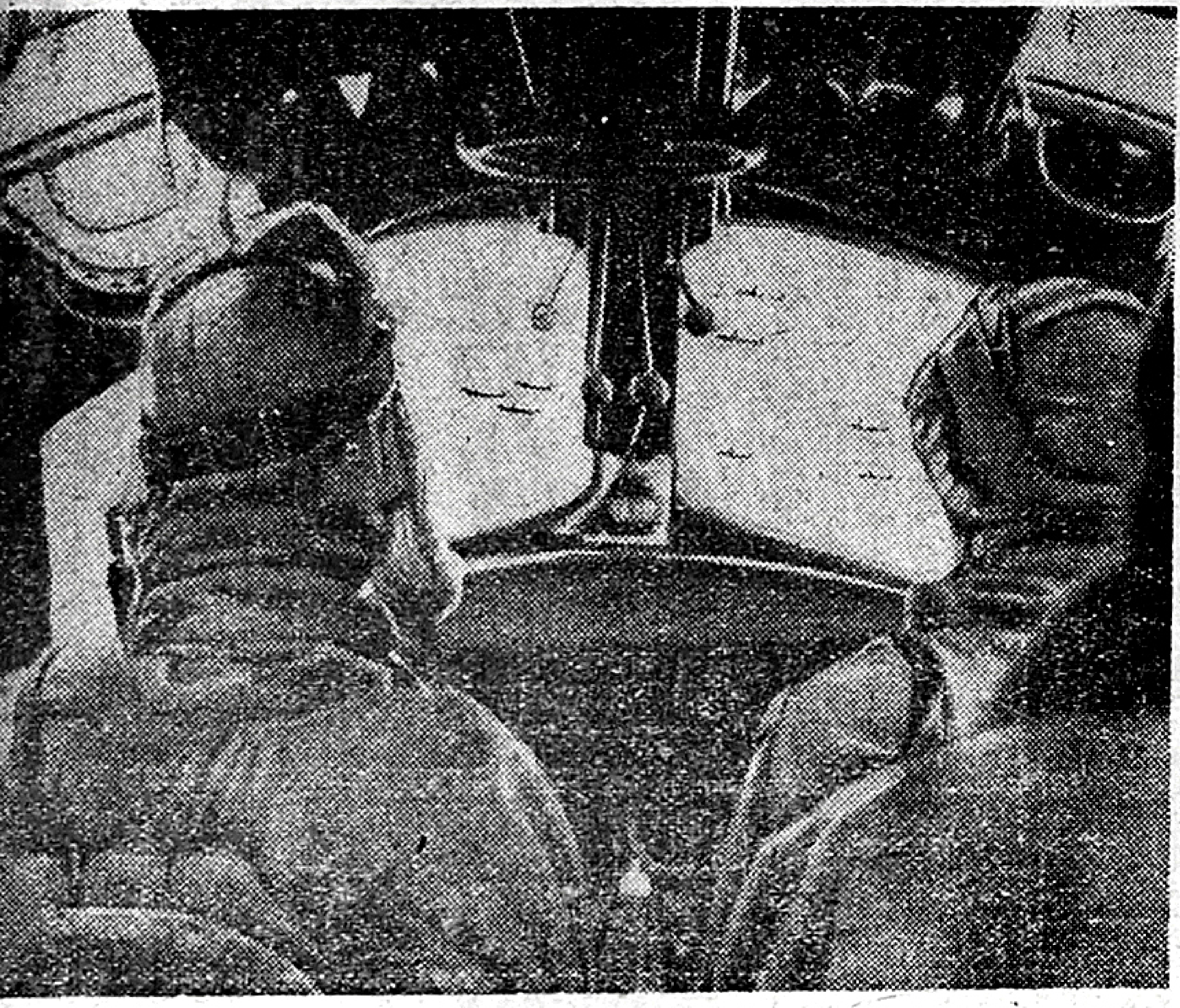
わが本土南西方面内線を攻撃し來つた敵の不逞な野望は南西諸島、台灣方面所在のわが陸海軍部隊の果敢なる邀撃戰並に洋上攻撃戰によつてあへなくも撃摧された、洋上〇〇浬にまで近接した空母群より飛立つた敵艦載機の大編隊は先づ十日四次に亘つて四百機に及ぶ大編隊で沖繩島、宮古島、奄美大島各島に來襲、續いて台灣に十二日千百機、十三日千四百機、十四日には支那大陸基地より海上機動部隊と呼應して來襲のB29大型爆撃機を合して五百五十機、十日以來の來襲敵機は總計延三千四百五十機の多きに上つてゐる、

出撃し來つた敵兵力は この南西方面洋上に空襲の大規模なることと及び諸般の情況より推して制式空母、巡洋艦改装空母、特設空母等を主力としてこれに戰艦、巡洋艦、驅逐艦等の相當多數を配置、しかも[illegible]の機動部隊に分散配置して文字通りの大機動部隊であることが想定出來、更に十二日夜間以來引續いてわが攻撃機隊の攻撃を受けながらもなほ執拗に台灣方面要地の空襲を連續した、その侵寇戰意の程は輕視出來得ぬ熾烈さを藏してゐる

この敵機動部隊來襲に 對してわが陸海軍部隊はその邀撃戰に於て南西諸島方面で廿六機、台灣方面で百六十機に及ぶ敵機を撃墜すると共に陸海軍航空部隊は眞に協力一致洋上遠くまであらゆる困難を冒して索敵航行の末敵艦隊の捕捉に成功し相次ぐ夜間、薄暮攻撃、更に晝間強襲などにより大本營發表の如く赫々たる戰果を揚げたのである、然もわが攻撃機隊は各基地より精鋭をすぐつて進發、急追攻撃を續行中であり海上部隊またその航空部隊に呼應出撃、海上遠く怒濤を乘り切つて熾烈果敢な直撃戰を實施中であり、この戰果の内容は更に一層増大することが豫期されてゐる、しかしながらわが攻撃機隊の敵機動艦隊攻撃は天候の不良或は夜間、薄暮の視界不良、さらに敵艦隊の防禦砲火の熾烈等により

想像以上の困難を極め て眞に血の滲むやうな惡戰苦鬪の末なるに拘らず以上の戰果を收めたのである、從つてわが未歸還機も相當數あり攻撃機隊中には多數勇士が壯烈果敢の體當り電撃戰法をとつたこともあるを銘記すべきである、かくて[illegible]とした日米決戰期に突入した太平洋上の戰機に對應し久しく隱忍自重態勢にあつた帝國海軍は今次敵機動艦隊のわが南西方面内線近接攻撃を契機として斷乎その航空部隊並に海上部隊を双翼として起ちあがり陸軍部隊と眞に緊密なる協力の下敵艦隊殲滅の利刃を揮ひ、しかも遁走の敵を急追中なのである

第一線陸海軍部隊精銳 が敵必滅に奮るとはいへ赫々たる戰果を擧げた半面にはわが損害もそれに比例して相當數に上ることを思へば時こゝに第一線精銳部隊の追撃作戰に呼應し各種兵器、艦艇、航空機などの補給源たる後方戰力生産陣にも畫期的の一大追撃増産戰が要望されるのである



〇〇洋上に猛然羽搏く我が荒鷲

森山報道班員撮影・電送

敵の出血一万三千

約六百機も海の藻屑

台灣東方洋上において有力なる敵機動部隊を捕捉、十二日夜間より引續き猛烈果敢なる攻撃續行中のわが航空部隊の戰果が更に大本營より追加發表された、十四日の發表における

戰果 は轟撃沈航空母艦三隻、艦種不詳三隻、驅逐艦一隻、撃破航空母艦一隻、艦種不詳一隻、計九隻轟撃沈破となつてゐるが先に轟撃沈せる艦種不詳三隻は航空母艦なること判明、またそのゝちの報告により撃破敵艦は戰艦一隻、巡洋艦一隻、艦種不詳十隻が増加し結局轟撃沈敵艦は航空母艦七隻、驅逐艦一隻、撃破は航空母艦二隻、戰艦一隻、巡洋艦一隻、艦種不詳十一隻合計八隻轟撃沈、十五隻撃破の赫々たる大戰果となつた

今回 來襲の敵兵力が數群に分れ、制式空母相當數を含む空母群を主力としてゐるだけに撃沈敵空母七隻の大部分が制式空母であることが想像され、また轟撃沈破敵艦の人員損害が推定約一万二千九百五十名、飛行機損害約六百機に達することよりして今回わが航空部隊による

必殺 攻撃戰に於て敵艦隊が喫したる損害は實に甚大なるものとなるわけである、かくして敵は十二日夜間、十三日薄暮と引續いてのわが航空部隊の猛烈なる攻撃にたまりかね十四日には午前七時ごろより九時に至る間二回に亘つて台灣各地に對し波状攻撃を行つたのみで早くも遁走態勢となり急遽空襲部隊を收容し午前十一時ごろより海上遠く敗走を企圖せるものの如くである、しかも敵艦隊はこの間十二日夜間及び十三日薄暮の

我が 猛攻撃に轟撃沈破された艦艇の乘員救助を目論みつゝあつたが我が航空部隊はこれに對し更に一層敵を急追、目下艦隊攻撃作戰續行中であり我が海上部隊またこれに呼應出撃し浮足だつた敵艦隊に對し壯烈決死の追撃戰を實施中である

赫々たりこの戰果

去る十日來不逞にもわが防衛内線深く猪突猛進し來つた敵機動部隊はわが精銳の陸海攻撃機の必殺の一撃によつて脆くもその企圖を粉碎され轟撃沈航空母艦七隻、驅逐艦一隻、撃破航空母艦二隻、戰艦一隻、巡洋艦一隻、艦種不詳十一隻の大損害を蒙り目下東方に向け敗走中であるがいまこの戰果に照して敵の受けた人員と敵機の損害もまた莫大な數に上ることが推定されいま今回の戰果が敵に與へた艦艇以外の損害を推計すると次の如くならう、先づ大型空母一隻に約千五百名乘組むとして三隻で約四千五百名中型空母乘組員約千名として四隻で約四千名、驅逐艦約三百名乘組みで小計約八千八百名が海底の藻屑となつたわけで更に撃破の空母大型中型二隻を三分の一損傷と見て二隻で八百名、戰艦一隻約一千五百名乘組の三分の一損失と見て約五百名、巡洋艦約八百名としてその三分の一の二百五十人、艦種不詳十一隻の乘組員總數七千七百名と推定してその三分の一の二千六百名で總計一万二千九百五十人の人員損害が見られる また敵飛行機の損害を見るに大型空母に約百機、中型空母に約六十機搭載すると見て大型三隻で三百機中型四隻で二百四十機、計五百四十機となり撃破の大型空母ならびに中型空母の五十機および戰艦搭載機六機を加算すれば優に六百機に上る多數の飛行機が一擧に海底深く沈んだことになる

十八機撃墜

マニラへ艦載六十機

【マニラ十五日發同盟】十五日午前十時三十分頃マニラ地區に敵艦載機戰爆連合六十機が來襲、主として飛行場を攻撃せんとしたが待機中のわが制空部隊の邀撃に遭つて遁走した、午後三時までに判明した戰果は撃墜十八機（うち不確實五機）に上つた、わが方

お城前
八重垣劇場

明祭日は大評判の八重垣へ
十九日より 右太エ門の江戸の朝霧

諜略戰線
ÜBER ALLES IN DER WELT

英帝國の假面を暴く[illegible]作！
見よ！ドイツ映畫の秋の大作を！
カール・リッター 監督
カール・ラダッツ
ハネス・ステルツァー 主演

筆陣

戰時は犯罪が増加するとは世界の定説で、今次大戰でも各國がこれに惱んでゐるのに、ひとりわが國が一般犯罪の激減を示してゐることは、國民精神を貫く忠誠愛國の至誠によるものでまことに喜ばしい。しかし、世相を[illegible]めれば道義心の低下を懸念される現象も珍らしくなく、工場内にもまた憂慮すべき傾向が指摘される。

×　×

しかるに、勝つためには、増産のためには、風紀問題とか道義心の低下とかはいつてゐられないといふ考へ方が一部に殊に指導的地位にある人々の間にさへかゝる意見を持つてゐるもののあることは寒心にたへない。

×　×

軍紀の紊亂した軍隊に强い軍隊はない。銃後生産戰もまた同様である。風紀の亂れ、道義心のない工場から、優秀な兵器の生れる筈もなければ、輝かしい増産の成果があがるわけもない。正しく明るい工場でこそ、能